

Just Now

外国語活動の時間は ハッピータイム —6年間で培う城南小学校 の実践

常本公志 Tsunemoto Kimiyuki
(群馬県高崎市立城南小学校)

1. はじめに

本校は、平成13年度より1年生から6年生まで週1時間の「英語活動」を行う教育活動を推進してきました。平成21年度からは、教育課程特例校として、「外国語活動」を教育活動の中心に据えています。筆者は、平成18年度から平成22年度までは行政の立場で、平成23年度からは本校教頭の立場でかかわらせていただいています。諸先輩方が築き上げてきた本校の教育活動について、僭越ですが本稿を拝借して筆者が代表して述べさせていただくとともに、この稿がお読みいただく方々のご参考になれば幸いです。

外国語活動を通した本校の教育活動の目的は「積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成」であり、以下が本校のめざす児童像となります。

- 進んで外国語を聞いたり話したりして活動を楽しんでいる子
- 親しんだ外国語表現を活用して、進んでコミュニケーション活動に取り組んでいる子
- 外国語や外国のことに興味をもち、進んで理解しようとしている子

2. 指導計画

本校では、独自の年間指導計画に毎年少しずつ修正を加えながら、1年生から週1時間の外国語活動を進めています。これは、*Hi, friends!*などの教材を全面的に導入するには、従来からの単元配列や指導計画を大幅に変更する必要が生じるからです。ただし、*Hi, friends!*と同様の単元は、各学年に配列してあります。

また、低・中・高の学年ブロックで同じトピック

を単元配列しています。これにより、児童はスパイラルにトピックに触れることができ、「知っている。やったことがある。」という気持ちをもって、安心して活動に取り組むことができます。

例えば、1年生や2年生において、グループで家族となり、自己紹介しながら、家族を紹介するという活動に取り組みます。このとき1年生と2年生では、使用する英語表現に差を付け、2年生では1年生の時に使用した表現に自分の好きなものについての表現を加えるなどの工夫をしています。

また、毎年10月には市内のALT約20数名を招いた活動を行っています。このときの単元は1年生から5年生まで同じ「Let's make friends」というトピックです。

空間的な広がりとしては、3年生では「My Town」という単元で校区の地域に、4年生では「My City」という単元で本校がある高崎市に、5・6年生では「World Time」という単元で世界に目を向けたトピックを設定しています。

3. 指導体制

本校の指導体制は、学級担任(HRT)、日本人外国語活動担当(JTE)、外国語指導助手(ALT)の3名です。ALTとの打合せの時間の確保のため、本校の工夫は学年ごとに打合せの日を週2日設け、次回の活動内容の確認をしているところです。これにより、3者のチーム・ティーチングがよりスムーズに進んでいます。

打合せの進行は、JTEが行っています。授業の中のHRTやJTEの指導分担は、単元によってフレキシブルに変えています。

4. 環境づくり

本校では、外国語活動の日常化として、以下のよう工夫を行っています。

(1) 外国語活動室 (Happy Room)

外国語活動を行う部屋を1室割り当て、室内に授業に必要なピクチャーを貼ったり、教材を保管したりしています。

また、現在のALTがイギリス出身のため、イギリスに関係した作品を壁面に飾ってあります。



(2) 児童放送委員による英語の校内放送

朝、中休み、給食、帰りの放送時に、児童放送委員が日本語に加え、英語アナウンスも行っています。

(3) Weekly English

毎週「一口英語」をハッピータイムの冒頭に取り上げ、全クラス口ずさんでいます。「一口英語」の内容は、行事や季節に合うものをJTEが考えます。

また、教室や廊下にも掲示して、児童の目に触れるようにします。

(4) 全校集会時の外国語活動

年間3回朝行事の中に「国際理解集会」として、全校で遊べる外国語活動のゲームをします。内容は、下学年と上学年の2学年の児童が中心となり、考えて提案したものです。

また、年1回「ハッピーフェスティバル」と銘打ち、各学年で活動を発表する集会を行っています。これは、保護者にも公開し、毎年大勢の保護者が参観しています。

(5) 校舎内外の表示

児童玄関のおもてには、「WELCOME TO JONAN」の文字が貼り付けてあります。各部室の前や廊下にも英語による表示がされています。例え

ば、「No running.」の表示が廊下にされているので、児童たちは、走る子を見かけると「No running!」と注意をすることができます。

5. 保護者の理解を得るための活動

(1) Happy Time News の発行

毎月1回、外国語活動の授業の様子をおたよりにして発行し、保護者に配布しています。

(2) 全校集会時の外国語活動の公開

前項の(4)を参照。

(3) 学校ホームページ (HP) での発信

HPにWeekly EnglishやHappy Time Newsを掲載し、外国語活動を周知しています。

6. 卒業生のその後

今年度、本校で外国語活動を経験した卒業生(中1~23歳)にアンケートを実施し、活動のその後への影響を調査しました。抜粋して紹介します。

「外国語(英語)活動が楽しかった」を回答した卒業生は9割を超えていました。

(1) 中学校以降の英語学習に役だったと思う活動

最も多かったものは「英語そのものへの慣れ」で、次は「英語の聞き取り」でした。

(2) 中学校以降の英語学習に対する気持ち

「積極的に」「まあまあ」を合わせた取り組み方は、8割を超えています。

(3) 他の小学校卒業生との比較

他の小学校の卒業生も進学する中学校にも協力していただき、調査しました。その中で、本校出身者の回答が顕著だった項目の1つに「小学校1年生から週1時間英語の授業があったほうがよい」があげられます。

7. おわりに

毎年、職員や児童の入れ替わりがある中で、学校評価のアンケートでは、約95%の児童がHappy Timeの授業を「好き」と答えています。今後もよりコミュニケーション能力の素地を養う授業改善、単元開発を行っていききたいと思います。